



## 平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月14日

上場会社名 株式会社バリューHR 上場取引所 東  
 コード番号 6078 URL <http://www.valuehr.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 美智雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 遠藤 良恵 TEL 03-6380-1300  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 平成27年8月31日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	1,122	11.1	160	△9.5	157	5.2	90	14.3
26年12月期第2四半期	1,010	2.1	177	△11.8	149	△15.4	79	△22.3

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 88百万円 (11.8%) 26年12月期第2四半期 79百万円 (△22.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	33.41	30.72
26年12月期第2四半期	30.59	27.49

(注) 当社は、平成26年7月15日開催の取締役会決議に基づき、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第2四半期	4,602	1,780	37.7	636.31
26年12月期	4,649	1,698	36.0	621.25

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 1,734百万円 26年12月期 1,675百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	-	0.00	-	15.00	15.00
27年12月期	-	10.00	-	-	-
27年12月期(予想)	-	-	-	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,309	14.8	418	23.1	381	51.4	227	82.1	84.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

注) 詳細は、添付資料の3ページの「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期2Q	2,725,200株	26年12月期	2,696,600株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	-株	26年12月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期2Q	2,717,248株	26年12月期2Q	2,596,447株

(注) 当社は、平成26年7月15日開催の取締役会決議に基づき、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付資料の3ページを参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に、個人消費についても実質所得の改善から緩やかな回復基調が続いています。

そのような環境のもと、当社グループは「健康管理のインフラを目指す」を事業ビジョンとして、健康保険組合、企業、個人を対象に、独自のシステムを用いた健康管理サービスを以下2つの事業セグメントにより展開しております。

#### バリューカフェテリア事業

主に健康診断の予約や結果管理、結果に基づく保健指導の運営管理等の機能をもつバリューカフェテリア®システムの提供を軸に健康診断や健康行動に関するデータ管理、並びに企業や健康保険組合の健康管理業務のアウトソーシングの受託を行っております。

#### HRマネジメント事業

主に健康保険組合の新規設立支援コンサルティング及び健康保険組合事務局の運営支援としての人材派遣等の業務を行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、バリューカフェテリア®システムの新規導入及び利用が堅調に推移し、平成27年度から実施されるレセプトや健診データを活用した効率的な保健事業、いわゆる「データヘルス計画」にかかる新規契約の受注が始まり、契約団体への健康診断の実施に係る代行業務では、健康診断データの管理収入をはじめとする事務代行料等の売上が増加しました。また、新規設立された健康保険組合事務局への人材派遣収入が増加しており、前連結会計年度から継続する健康保険組合の設立支援コンサルティングに加え、新規のコンサルティングを受注しております。また、当第2四半期連結累計期間において、投資有価証券売却益16,568千円を営業外収益として計上し、過年度決算訂正関連費用13,285千円を特別損失として計上しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,122,610千円（前年同四半期比11.1%増）、営業利益は160,522千円（前年同四半期比9.5%減）、経常利益は157,432千円（前年同四半期比5.2%増）、四半期純利益は90,807千円（前年同四半期比14.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### バリューカフェテリア事業

当第2四半期連結累計期間は、バリューカフェテリア®システムの新規導入及び利用が堅調に推移しました。また、契約団体への健康診断の実施に係る代行業務では、健康診断データの管理収入をはじめとする事務代行料等の収入が増加しました。これにより、売上高は825,769千円（前年同四半期比9.5%増）、営業利益は253,632千円（前年同四半期比6.8%増）となりました。

#### HRマネジメント事業

当第2四半期連結累計期間は、主に新規設立された健康保険組合事務局への人材派遣収入が増加しました。また、前連結会計年度から継続する健康保険組合の設立支援コンサルティングに加え、新規のコンサルティングを受注しております。これにより、売上高は296,840千円（前年同四半期比15.5%増）、営業利益は106,035千円（前年同四半期比4.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,898,449千円（前連結会計年度末は2,075,508千円）となり、177,059千円減少しました。これは、現金及び預金が160,604千円減少したこと等が主な要因です。固定資産は2,704,438千円（前連結会計年度末は2,574,471千円）となり、129,966千円増加しました。これは、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が119,287千円増加したこと等が主な要因です。これらの結果、総資産は4,602,887千円（前連結会計年度末は4,649,980千円）となり、47,093千円の減少となりました。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,333,177千円（前連結会計年度末は1,581,378千円）となり、248,201千円減少しました。これは、預り金が246,499千円減少したこと等が主な要因です。固定負債は1,489,229千円（前連結会計年度末は1,370,136千円）となり、119,092千円増加しました。これは、長期借入金118,530千円増加したこと等が主な要因です。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,780,480千円（前連結会計年度末は1,698,465千円）となり、82,015千円増加しました。これは、主にストックオプションの行使による資本金及び資本準備金が10,447千円増加したこと、四半期純利益90,807千円の計上及び新株予約権23,200千円の増加、配当金40,449千円の支払いによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ160,604千円減少し、1,484,775千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は151,733千円（前年同四半期は1,955千円の使用）となりました。これは主に法人税等の支払、その他に含まれる預り金及び未払消費税の支払によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は157,562千円（前年同四半期は133,529千円の使用）となりました。これは主に投資有価証券、有価証券、有形固定資産及び無形固定資産の取得によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は148,691千円（前年同四半期は117,980千円の使用）となりました。これは長期借入れによる収入と長期借入金の返済及び配当金の支払によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績予想につきましては、平成27年2月16日付発表「平成26年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の記載から変更はありません。なお、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間より、当社の完全子会社であった株式会社バリューサポートを平成27年5月1日付で当社が吸収合併したことにより連結の範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,645,380	1,484,775
売掛金	189,522	190,336
商品	626	1,387
仕掛品	1,069	1,967
貯蔵品	9,144	6,115
その他	229,764	213,867
流動資産合計	2,075,508	1,898,449
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	764,537	764,093
土地	1,383,681	1,383,681
その他(純額)	49,260	56,995
有形固定資産合計	2,197,479	2,204,769
無形固定資産	98,374	101,552
投資その他の資産		
その他	332,498	398,116
貸倒引当金	△53,881	-
投資その他の資産合計	278,616	398,116
固定資産合計	2,574,471	2,704,438
資産合計	4,649,980	4,602,887
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	75,092	82,051
短期借入金	207,384	267,384
未払法人税等	82,150	53,939
預り金	439,584	193,084
その他	777,166	736,717
流動負債合計	1,581,378	1,333,177
固定負債		
長期借入金	1,265,740	1,384,270
その他	104,396	104,959
固定負債合計	1,370,136	1,489,229
負債合計	2,951,514	2,822,406
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	430,947	436,171
資本剰余金	474,859	480,083
利益剰余金	763,565	813,923
株主資本合計	1,669,372	1,730,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,893	3,902
その他の包括利益累計額合計	5,893	3,902
新株予約権	23,200	46,400
純資産合計	1,698,465	1,780,480
負債純資産合計	4,649,980	4,602,887

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,010,696	1,122,610
売上原価	574,589	651,165
売上総利益	436,106	471,445
販売費及び一般管理費	258,677	310,922
営業利益	177,428	160,522
営業外収益		
受取利息	127	137
受取配当金	-	877
投資有価証券売却益	-	16,568
助成金収入	800	-
保険解約返戻金	560	-
その他	1,033	3,358
営業外収益合計	2,521	20,942
営業外費用		
支払利息	18,279	16,763
貸倒引当金繰入額	7,903	-
その他	4,111	7,269
営業外費用合計	30,294	24,032
経常利益	149,655	157,432
特別損失		
固定資産除却損	247	-
過年度決算訂正関連費用	-	13,285
特別損失合計	247	13,285
税金等調整前四半期純利益	149,407	144,147
法人税等	69,974	53,340
少数株主損益調整前四半期純利益	79,433	90,807
四半期純利益	79,433	90,807

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	79,433	90,807
その他の包括利益		
<del>その他有価証券評価差額金</del>	<del>-</del>	<del>△1,990</del>
その他の包括利益合計	-	△1,990
四半期包括利益	79,433	88,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,433	88,817
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	149,407	144,147
減価償却費	44,217	45,827
敷金及び保証金償却額	1,916	3,685
株式報酬費用	-	23,200
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,150	△53,881
受取利息及び受取配当金	△127	△1,015
支払利息	18,279	16,763
有価証券売却損益(△は益)	-	△983
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△16,568
固定資産除却損	247	-
売上債権の増減額(△は増加)	10,133	△813
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,689	1,371
リース債務の増減額(△は減少)	△28,325	△28,927
リース投資資産の増減額(△は増加)	28,476	29,078
仕入債務の増減額(△は減少)	18,962	6,958
その他	△172,791	△224,719
小計	73,856	△55,878
利息及び配当金の受取額	127	1,015
利息の支払額	△18,300	△16,739
法人税等の支払額	△57,639	△80,131
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,955	△151,733
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	-	△18,279
有価証券の売却による収入	-	19,253
有形固定資産の取得による支出	△11,236	△35,139
無形固定資産の取得による支出	△16,847	△21,154
投資有価証券の取得による支出	△100,000	△329,817
投資有価証券の売却による収入	-	224,000
敷金及び保証金の差入による支出	△6,041	-
預り保証金の受入による収入	-	3,516
その他	596	60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133,529	△157,562
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△16,668	-
長期借入れによる収入	100,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△187,189	△121,470
株式の発行による収入	18,755	10,447
配当金の支払額	△32,300	△39,579
その他	△578	△706
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,980	148,691
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△253,464	△160,604
現金及び現金同等物の期首残高	1,641,657	1,645,380
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,388,193	1,484,775

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	バリューカフェ テリア事業	HRマネジメント 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	753,810	256,885	1,010,696	-	1,010,696
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	753,810	256,885	1,010,696	-	1,010,696
セグメント利益	237,357	101,105	338,463	△161,034	177,428

(注) 1. セグメント利益の調整額△161,034千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	バリューカフェ テリア事業	HRマネジメント 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	825,769	296,840	1,122,610	-	1,122,610
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	825,769	296,840	1,122,610	-	1,122,610
セグメント利益	253,632	106,035	359,668	△199,145	160,522

(注) 1. セグメント利益の調整額△199,145千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。